

「しあわせの黄色い花」

訪問途中のあぜ道を通るとふと目に留まった一輪の小さな黄色い花。人通りが少ない日常とは違う景色の中で、その花だけはひととき鮮やかな綺麗な色で咲いていた。

今の世の中の自粛生活で、心にぽっかりと穴が開いてしまったような気持ちを、ほんのひと時だけ幸せでいっぱい包んでくれた。

新型コロナウイルスは人とのつながりを断ち切ってしまう心の病気。人が人を信じられなくなってしまわないように、いつも優しい心を持ち続けていくことを大切にしたいな。

ふとそんな気持ちを、この小さな黄色い花を眺めながら思いを寄せていた。

この小さな黄色い花を、どのくらいの人たちが見て、どのくらいの人たちが幸せを感じ、未来への希望を持ったのだろうか。多くの人がこの小さな黄色い花を見て、同じことを感じあえたなら、きっと心優しい世界が開けるのかな。



さあ、今日も優しい未来に向けて頑張ろうか。

(2020年6月)